

つなぐ

第 35 号

令和6年(2024年)
11月1日発行
鳥取県 境港市議会



令和6年度補正予算 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ P 2
令和6年9月定例会予算委員会報告 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ P 3
令和6年8月臨時会・9月定例会(議決結果) ○○○○○○○○○○○○○○○ P 4

一般質問 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ P 6
市民と議会の懇談会開催報告 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ P 19

さかいみなと消防・防災フェア



令和6年8月臨時会・9月定例会 (議決結果・令和6年度補正予算)

境港市議会では、8月6日に臨時会が開かれ、続いて9月3日から24日間の会期で9月定例会が開かれました。「令和6年度境港市一般会計補正予算」など予算5議案、「境港市税条例等の一部を改正する条例制定について」など条例3議案、人事その他9議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決され、「令和5年度境港市一般会計歳入歳出決算の認定について」など7議案については、決算審査特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

また、提出された「健康保険証の廃止をしないよう求める請願」は、審議の結果、不採択。「『持続可能な学校の実現をめざす』実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情」など陳情6件は、審議の結果、採択は1件、不採択は5件となりました。議員提出議案「実効性のある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書の提出について」は、原案のとおり可決されました。

議決結果はP4とP5に、総務民教委員会報告と合わせて掲載しています。

また、このたび可決した一般会計補正予算から、主な事業と予算委員会での質疑・意見を紹介します。

なお、議決結果は、市議会ホームページからもご覧いただけます。



旧誠道小学校利活用支援補助金

本市の地域活性化および交流人口の拡大に資する事業に対して企業版ふるさと納税を財源とした補助金の増額

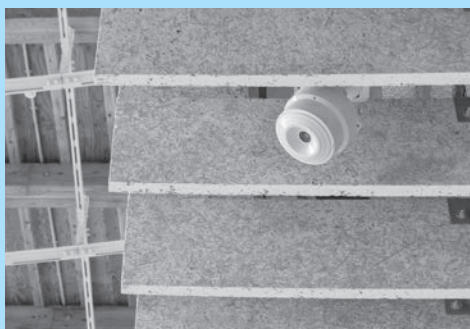
1,289 万円



住宅・建築物耐震化促進事業補助金

支援制度の新設などにより不足する、木造住宅耐震診断業務委託料および耐震改修などに対する補助金の増額

1,049 万円



市民交流センター防犯カメラ増設事業

一部利用者による迷惑行為の頻発が問題となっていることから、利用環境の改善をはかるため、市民交流センターの2階に防犯カメラ6台を増設

264 万円



フリースクール利用料等補助金

フリースクールなどに通う児童・生徒を持つ保護者の負担を軽減するため、通所に係る費用の一部または全部を助成

176 万円

予算委員会での質疑・意見

【旧誠道小学校体育館等解体事業】【旧誠道小学校利活用支援補助金】

旧誠道小学校については、体育館とプールの解体に関する説明と、利活用に賛同する企業からの企業版ふるさと納税5件分を財源に、(株)SC鳥取の旧誠道小学校改修事業への補助金交付の説明がありました。

委員からは、旧誠道小学校の跡地利用の進捗状況などについての質疑がありました。

なお、討論において「企業版ふるさと納税は、大手企業への優遇税制で賛同しかねる」といった発言がありました。

【市民交流センター防犯カメラ増設事業】

委員からは、設置の経緯や確認の方法などの質疑がありました。

防犯カメラの増設については、それによるマイナス要因があるとの意見があったことから、議員間討議を実施しました。

討議の中では「カメラで監視されることで来館者が少なくなる」とのマイナス要因が示された一方で、多くの委員からは「防犯上必要であり、注意喚起につながる」「録画を確認することにより、間違った注意や指導を防ぐことができる」との発言がありました。

なお、防犯カメラ運用のガイドラインについては、今後、総務民教委員会で協議していくことを確認しました。

【フリースクール利用料等補助金】

制度についての説明を受けた後、委員からは、本市の不登校の現状として、フリースクールに通う児童数や、その後の進路状況などの質疑と、補助金額の内容の詳細についての質疑がありました。

【介護保険費特別会計補正予算】

内訳は、要介護認定の申請件数の増加にともない不足する認定調査の委託費用と、令和5年に概算払いを受けた国や県からの交付金などの精算にともなう返還金との説明を受けました。

委員からは「認定調査を外部委託業者だけで対応できるのか」といった質疑がありました。



総務民教委員会での質疑・意見

■境港市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定

『行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律』いわゆる『マイナンバー法』などの一部を改正する法律の制定により、12月2日から被保険者証の発行を終了することとともない、所要の改正を行うとの説明がありました。

委員からは、保険料滞納者への対応についての質疑がありました。また「マイナンバーカードの保険証一本化には課題が残っており賛同しかねる」という意見がありました。

■能登半島地震の状況を受けて、安定ヨウ素剤の積極的な事前配布を求める陳情

これは原子力発電所から5km圏内のPAZと同様に30km圏内のUPZにおいても、安定ヨウ素剤の配布率を上げるための積極的な方法を検討することを求めるもので、委員からは「新潟県において大雪などを考慮し、積極的な配布を行っている例があり、賛同する」との意見がありました。一方で「希望者への配布はできている」という意見や「きちんと管理された場所で使用法などの確認を行い、適正に利用できる環境を整備することが重要である」との意見がありました。

■中国電力に対して島根原発2号機の再稼働中止を求める陳情

国では原発の稼働期間の延長など原発を推進しているが、原発はコストもリスクも高いとして島根原発2号機の再稼働の中止を求めるもので、委員からは「島根原発2号機については原子力規制委員会で安全性について確認がなされ、対応している」との意見や「国の政策変更について国民に十分な説明がなされていない」という意見がありました。

賛成：○ 反対：× （注）賛否状況は全て案件に対する各議員の賛否状況を記載しています。

自由未来						賛 否 状 況					きょうどう		境港市議会公明党議員団		無所属	
荒井秀行	永井章	加藤文治	吉井巧	松本晶彦	伊藤康弘	岡空研二	米村二三	森岡俊夫	平松謙治	柊康弘	田口俊介	足田法行	景山憲	安田共子		
○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
×	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
×	議長	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	
×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	

令和6年8月臨時会・9月定例会 議決結果一覧表【全会一致で議決したもの】

会議	提出者	区分	番号	案 件 名	議決結果
8月臨時会	市長	予算	第55号	令和6年度境港市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
9月定例会	市長提出議案	人事	第56号	教育委員会委員の任命について	同意
			第57号	公平委員会委員の選任について	同意
			第58号	職員懲戒審査委員会委員の任命について	同意
			第59号	職員懲戒審査委員会委員の任命について	同意
		予算	第61号	令和6年度境港市介護保険費特別会計補正予算（第1号）	原案可決
			第62号	令和6年度境港市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
			第69号	令和6年度境港市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
		条例	第64号	境港市税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
			第65号	境港市公園条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
		その他	第67号	市道の路線の廃止について	原案可決
			第68号	市道の路線の認定について	原案可決
			第70号	財産の取得について（追認）	原案可決
			第71号	工事請負契約の締結について	原案可決
		決算	第72号	令和5年度境港市一般会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
			第73号	令和5年度境港市国民健康保険費特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
			第74号	令和5年度境港市駐車場費特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
			第75号	令和5年度境港市介護保険費特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
			第76号	令和5年度境港市市場事業費特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
			第77号	令和5年度境港市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算の認定について	閉会中の継続審査
			第78号	令和5年度境港市公共下水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	閉会中の継続審査

※このほか報告が8月臨時会に1件、9月定例会に2件ありました。

令和6年9月定例会 議決結果一覧表【賛否の分かれたもの】

会議	提出者	区分	番号	案 件 名	議決結果
9月定例会	市長	予算	第60号	令和6年度境港市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
		条例	第63号	境港市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
		その他	第66号	鳥取県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	原案可決
	議員提出議案		第2号	実効性のある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書の提出について	原案可決
	請 願		第1号	健康保険証の廃止をしないよう求める請願	不採択
	陳 情		第10号	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の陳情	採 択
			第11号	能登半島地震の状況を受けて、安定ヨウ素剤の積極的な事前配布を求める陳情	不採択
			第12号	UPZ圏内の避難計画の重要な対策である屋内退避の運用に関する検証結果が明らかになるまで再稼働の延期を中国電力に求める陳情	不採択
			第13号	中国電力に対して島根原発2号機の再稼働中止を求める陳情	不採択
			第14号	能登半島地震を受けた島根原発に係る国及び中国電力への申し入れに対する回答に対して、国と中国電力への再度の照会と、中国電力に対して島根原発2号機の「再稼働の了解」を一旦撤回することを求める陳情	不採択
			第15号	能登半島地震を受けた島根原発に係る国及び中国電力への申し入れに対する回答に関して住民説明会の開催を求める陳情	不採択

市政を問う

議員11人が一般質問を行いました。

【一口メモ】

一般質問には、所属する会派を代表して行う「代表質問」（境港市議会では3人以上の会派のみ）と、議員個人の立場・観点で行う「各個質問」があります。

議会だよりの質問ページは、質問を行った1議員については最大1ページとしていますが、上記の「代表質問」と「各個質問」では性質や質問時間が異なるため、「代表質問」を行う場合は会派内でページ配分をしています。

各議員は掲載した以外にも質問をしていますが、議会だよりでは、スペースの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。

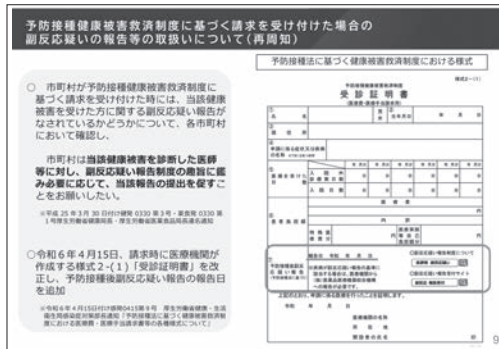
ページ	質問事項		質問議員
7・8	代表質問	①誰もが安心して暮らせる「支え愛」の政策について ②誠実な行政運営について ③防災対策について ④地域を担う人材育成のための人づくりについて	森岡 俊夫
9	関連質問	①伊達市政2期目の重点方針について～小中学校の再編について～ ②伊達市政2期目の重点方針について～市庁舎の建て替えについて～	米村 一三
10	各個質問	①不登校児童生徒に寄り添う施策について ②本市の防災対策について ③難聴者支援の更なる充実について	田口 俊介
11	各個質問	①歴史教科書について ②市庁舎の建て替えについて	加藤 文治
12	各個質問	①原子力防災、原発の安全対策、核燃料サイクルについて ②地域公共交通、AⅠ活用型オンデマンドバス実証運行事業について	安田 共子
13	各個質問	①防災対策について ②地域公共交通の構築について	吉井 巧
14	各個質問	①市内の道路管理について ②予防接種について	伊藤 康弘
15	各個質問	①大切な海を守る環境づくりや空き家などの生活環境対策について ②小中学校の再編について	荒井 秀行
16	各個質問	①子育て支援・人口減少対策について ②防災対策について	松本 晶彦
17	各個質問	①浸水対策に向けての具体的な河川改修や雨水幹線に繋ぐ側溝改修促進などについて ②現場作業にあたる職員の夏場の安全対策について	景山 憲
18	各個質問	①能登半島地震を踏まえた防災基本計画と女性の視点から見た防災について ②介護・認知症における地域共生社会の推進について ③視覚障がい者の支援について	足田 法行

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

医療・福祉・健康政策の自己評価を

市長

医療機関と連携し、ワクチン接種体制を構築



予防接種健康被害救済制度
厚生労働省 令和6年度第1回予防接種に関する
自治体説明会 資料より抜粋

【森岡】1期目を振り返って、医療・福祉・健康政策について、ご自身での評価をうかがう。



会派 きょうどう

森岡 俊夫 議員

【市長】新型コロナウイルス感染症の対応では、市内医療機関との連携により、ワクチン接種体制が構築できたことは成果の一つと認識する。

【森岡】HPVワクチンのキャッチアップ接種は、今年度で終了するが、来年度以降は、どうされるのか。

【森岡】10月から65才以上の高齢者を対象に新型コロナウイルスワクチンの定期接種が始まる。新しく認可されたレプリコンは、開発したアメリカや治験を行ったベトナムでも認可されていない。薬害に対する市長の見解は。

【市長】市町村では、検証・責任はとれない。健康被害が出た場合は、国の救済制度の活用を含め、副反応などの情報は、提供していきたい。

公共施設建設に民間投資を促しては

市長

民間施設との複合などは検討するに値する

【森岡】2期目の公約に小中学校の再編と市庁舎の建て替えを掲げているが、その投資時期や手法、また投資額などは、どのように考えているのか。

【市長】現在、庁内ワーキングチームで検討しており、基本的な考え方をまとめ、できる限り早期に構想の素案を作成

したい。

【森岡】市庁舎の建て替えと小中学校再編を同時に行うのは、財政的に難しいと思う。財政的な観点から、民間の施設（ホテル・銀行・郵便局・国や県などの出先機関・商工会議所・コンビニ・病院などの利便施設）との複合施設として賃貸収入を見込めるよ

うな新しい発想やアイデアを募って、民間投資を促してみてはどうか。

【市長】県の西部総合事務所3号館も設計・建築・維持管理も一括発注して効率化をはかっている。本市の水木しげる記念館も民間活力を活用した。済生会病院との合築なども検討に値すると思う。



© 水木プロ

民間活力を活用してリニューアルした
水木しげる記念館

原発事故避難道路を 国へ要望しては

市長

避難道路の観点も含め、
国へ要望する



避難行動要支援者の避難訓練の様子

【森岡】原子力災害避難訓練に障がい者や高齢者など介護を要する「避難困難当事者」にも実際に参加してもらってはどうか。

【市長】これまでは、訓練参加者に車いすやアイマスクを着用しての避難を実施し

てきたが、今年度は、当事者の方にも参加していただけるよう準備を進める。

【森岡】島根原発に対応する避難道路については、丸山島根県知事も国の責任において、一刻も早く建設するよう訴えている。中海・六道湖・大山圏域市長会の要望事項である「米子・境港間高規格道路」は、原発事故災害時

の避難道路としての役割を果たすものと考ええる。国への要望にあたっては、原子力災害避難道路としての位置づけを盛り込んでどうかと考えるが。

【市長】リスクを抱えている地域として、道路ネットワークの構築は重要であり、避難道路の観点も含め、国へ引き続き要望する。

小中学校再編計画の 最終期限は

教育長

来年中に素案を、
令和9年度に再編計画を

【森岡】小中学校再編計画の協議内容をうかがう。

【教育長】令和7年度中の市民説明会を経て、パブコメを実施。その後、令和9年度に、（仮称）学校再編計画策定審議会で、再編計画をまとめていく。

【森岡】小中学校再

編を学力向上のための学習環境を整えるきっかけとすべきと思うが。

【教育長】学力・学習状況調査の結果、本市の学力は、全国を下回る。これから子どもたちには、「ことばの力」を育み、探求する力をつけてもらいたい。

【森岡】学力向上に向けては、子どもた

ちが自主的に学習・勉強意欲の動機づけとなるような新しい教育を考えていかなければならないと考える。教育長の考えは。

【教育長】新しい小中学校再編をする際は、規模などの量の問題だけでなく、教育の自身・質を変え

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
蔵小学校	39	51	50	56	57	44	297
外江小学校	36	42	34	35	42	37	226
境小学校	43	41	41	40	47	53	265
上道小学校	47	42	42	41	47	39	258
余子小学校	51	35	47	51	37	41	262
中浜小学校	55	44	55	52	45	59	310
合計	271	255	269	275	275	273	1618

第一中学校	87	70	92	249
第二中学校	103	92	102	297
第三中学校	92	97	78	267
合計	282	259	272	813

令和5年度 境港市小・中学校児童生徒数
令和5年10月31日現在

本市の学校再編の最終的な形は

教育長

来年度中に素案を
まとめたい



本市にある3つの中学校、6つの小学校の再編成が協議されています。
(写真は第二中学校校舎)

【米村】令和3、4、5年の3年間の出生数は合計で557人となっており、中学



会派 きょうどう

米村 一三 議員

校は1校体制でも良いのではないかと。本市の面積を考慮すれば、自転車通学で市内全域からの通学は十分可能だ。
中学校の統合は、市の中央部に位置する第二中学校へ統合してはどうか。第一段階として、第一中学校を統合し、大規模改修を終えて間もない、第三中学校を最終的に統合するといったように、他の中学校の建て替え時期を考慮して、段階

的に統合するのが自然ではないか。
【教育長】中学校1校体制については、選択肢の1つとして検討している。幅広い世代の多くの方からの意見を聞き、子どもたちにとって、現在考えている4つのパターンのどれが良いのか、学校の仕組みは義務教育学校、または小学校と中学校があるのが良いのかなどを検討して、来年度中に素案をまとめたい。

新庁舎建設の基本的な考え方は

市長

諸課題などを考慮し、
検討を重ねる

【米村】伊達市政2期目の重点方針の1つに「市庁舎の建て替え」がある。
建て替え場所の選定などの、基本的な考え方を問う。
【市長】現市庁舎の敷地内には、防災の拠点でもある市民交流センターがあり、災害発生時には、そ

の建物内の災害対策本部室に職員が参集し、災害への応急対策などを行うことから市民交流センターに近接する場所を候補の1つと想定している。今後、建て替え場所を検討するにあたっては、現在地の場合は、仮庁舎の設置や窓口機能の集約などを、現在地から移転する場合は、



建築後60年以上が経過し
建て替えが検討される本市の庁舎

市民の利便性を踏まえた場所の選定や跡地の活用など、さまざまな課題などを整理、集約の上で、それぞれのメリット、デメリットなども考察し、検討を重ねることが必要だ。
市庁舎建設の基本構想は、市民と市職員へのアンケートなどで機能・諸条件を整理し策定する。

FS※利用助成制度の 検討状況は

※フリースクールの略

教育長

今議会に追加で 補正予算を提出する

【田口】校内教育支援センター設置促進の文部科学省の方針について、県・市の受け止めは。

【教育長】県教育委員会も拡充を検討するとのこと。本市においてまずは中学校に設置し、状況に応じ小学校への配置も検討したい。

【田口】市内に開校したフリースクールが県の認定校となったことを受け、利用補助制度の創設への検討状況は。

【教育長】通所費、交通費、実習費の一部助成のために今議会に追加提案する。



公明党

田口 俊介 議員

【感震ブレーカーの種類】			
分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを検知し、ブレーカーを落として電気を遮断。 約5～8万円（標準的なもの） 電気工事が必要	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。 約2万円 電気工事が必要	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを検知し、コンセントから電気を遮断。 約5,000円～2万円 電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。 3,000円～4,000円程度 電気工事が不要

（注）市や自治体の機関に導入した製品をあげてほしい。

鳥取県も7月に「感震ブレーカー普及協議会」を設立し、家庭の標準装備に取り組んでいる。

感震ブレーカー 設置へ補助創設を！

市長

12月の補正予算に 上程したい

【田口】感震ブレーカー設置への補助制度の創設を改めて提案するが、どうか。

【市長】12月の補正予算に上程したいと考える。

【田口】土嚢の備蓄場所の周知や、運搬・取り扱いが容易な吸水土嚢や水嚢袋、パネル型止水板などの備蓄も必要では。また、家庭で備蓄する際の補助も検討を。

【市長】備蓄場所については広報・周知に努める。提案については止水性や費用対効果を検証し、他の状況や補助制度も含め調査したい。

軟骨伝導イヤホンの 窓口への導入を

市長

導入自治体の利用状況を見ながら検討する

【市長】補聴器購入費助成事業の利用者アンケートでは本事業の利用者の多くが生活の質が上がったとあり、一定の効果が出ていると考える。また聴こえの相談会は5月から開始し、10月までの予約はいつぱいで広報が浸透しつつある。

【田口】本市でも軟骨伝導イヤホンの導入を考えるべきと思うが。

【市長】導入した近隣自治体の状況を見ながら検討したい。

【田口】聴こえの総合支援の現状の成果

と課題は。



気軽に使えて、聞こえにくさを軽減する集音器つきイヤホン。

中学校歴史教科書の 選択方法は

教育長

教科用図書を共同選択で
予定している



令和書籍発行の「国史教科書第7版」

【加藤】本年度は4
年に1回行われる公
立教科書の採択年度
で、中学校の歴史教



会派 自由未来

加藤 文治 議員

科書は、現在、帝国
書院が発行する「社
会科中学生の歴史日
本の歩みと世界の動
き」が使用されてい
る。本年度、採択さ
れる公立中学校の歴
史教科書については
幅広く市民の意見を
取り入れることはで
きないか、見解をう
かがう。

【教育長】採択地区
協議会の協議結果を
もとに、市教育委員
会の非公開の会議を
開き、採択教科書が
決定される。関心を

持って内容を知って
もらうため、教科書
展示会を行い、アン
ケート結果を情報提
供している。

【加藤】各教育長、
校長代表2名、保護
者2名、アンケート
11枚では少ないと思
う。幅広く意見を取
り入れ自虐史観を
なくす正しい歴史教
科書を使用してほし
い。

【教育長】今後、理
解が深まり、そのよ
うな声が高まれば変
わって行くと思う。

市庁舎の建替と 大規模改修の検証は

市長

今後、費用を比較し
整備方法をまとめる

【加藤】所信表明に
おいて市庁舎建て替
えの話があり、市庁
舎はこれまで耐震補
強工事や設備改修を
行ってきた。建築か
ら63年経過し老朽化
が進んでいる。新庁
舎の建築規模や場所
など、庁舎建て替え
計画の素案を早く作
成し、市民や事業者



建築後 63 年経過している市庁舎

と意見交換を行った
上で、建て替え計画
をまとめていくと言
われた。市長は建て
替えありきで計画を
進めようとしていて
るのではないか。建
て替えと大規模改修
の費用対効果を検証
し、大規模修繕工事
を行い、長く使用す
る考えはないか。

【市長】施設を新た

に建設する費用、大
規模改修と改修後の
維持管理費用の総額
との比較を行う。ま
た、人口減少や脱炭
素社会を見据えた庁
舎の適切な規模の考
察、省エネルギー化、
ユニバーサルデザイ
ン、市民サービス向
上、事務効率化など
を検証した上で整備
方法をまとめた。

まだ避難計画の実効性は低いのでは

市長

理解を深める活動を繰り返し
実効性を高める

〔安田〕避難計画の
必要性を理解し、原
発事故は起こりうる
と認識すれば、原発



無所属（日本共産党）

安田 共子 議員

は必要かと疑問に思
う人が増えると思
う。市長も新聞のア
ンケートで「原発は
段階的に減らす。原
子力発電への依存か
ら可能な限り早く脱
却する」と答えた。
その意思をはっきり
示してもらいたい。
〔市長〕再生可能
エネルギーなどで
100%まかなえる
のが一番良いが、先
は長いので、現実的
なところで原発の再
稼働に同意した。

〔安田〕内閣府の原



島根原子力館からのぞむ島根原発

子力防災会議で了承
されたのは「原子力
災害対策指針に照ら
し、具体的かつ合理
的」のことで「実
効性」ではない。避
難計画の周知が十分
でない現段階は、実
効性は低いのでは。
〔市長〕この避難計
画で放射線被ばくも
できるだけ避けられ
る。落ち着いて行動
できるように理解を
深める活動を繰り返
すのが避難計画の実
効性を高める最善の
策だと思っている。

オンデマンドバス 運行を白紙に

市長

利便性の高い公共交通へ
最善の方法を検討

〔安田〕オンデマン
ドバス運行と、はま
るーぷバス廃止は白
紙にもどすことはで
きないのか。
〔市長〕白紙にもど
す考えはない。より
利便性の高い公共交
通を提供するため、
オンデマンドバス運
行実施に向け、最善
の方法を検討しなが

ら取り組んでいく。
白紙にもどすには、
国の補助金、予定し
ていた新車のリー
ス、はまるーぷバス
の運転手確保など課
題がある。
〔安田〕市民からの
不満や疑問にどうこ
たえるか。先行自治
体での対応例は。
〔産業部長〕障がい
者の作業所通所に
は、1週間分の予約

を取るという事例も
ある。施設、医療機
関、店舗などでの代
理予約のお手伝いを
依頼する。
〔安田〕車いす利用
者や障がい者のタク
シー利用への助成拡
充も検討を。
〔産業部長〕車いす
利用には運転手が介
助する。タクシー料
金については研究し
ていきたい。

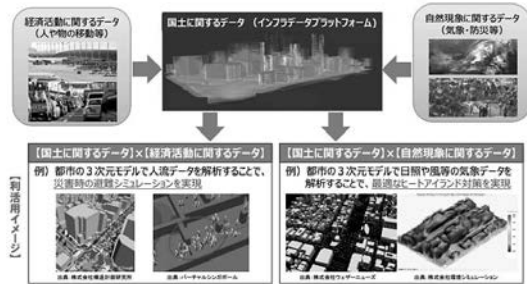


車いすで気軽に外出できる公共交通へ

3D都市モデルの 今後の活用方法は

建設部長

浸水シミュレーション
以外での活用はない



3D都市モデルを用いた
「国土交通プラットフォーム」のイメージ
国土交通省資料より

【吉井】3D都市モデルに、土地や建物利用情報を付加し、現在の都市データなどと重ね合わせる、都市構造を可視



会派 自由未来

吉井 巧 議員

化することができ、スマートシティをはじめとした都市計画DXを進めることも可能になる。境港市3D都市モデルの活用方法として、浸水シミュレーション以外の活用の考えは。

【市長】3D都市モデルをさまざまな目的で活用するには、新たなデータの収集やシミュレーションを行うためのツール作成が必要。その分コストがかかるの

で、浸水シミュレーション以外での活用の予定はない。

プール解体後の 防火水槽の役割は

市長

境高等学校周辺では
基準を満たしていない

【吉井】本年度から、外江小学校と第二中学校でのプール授業を試験的に市民温水プールで行っており、来年度以降は、全小中学校でのプール授業移行を実施する計画だ。各小中学校のプールが不要となり解体する場合、各地域の防火水槽としての役割を補う体制は

【市長】各小中学校のプールを解体した場合、消防水利が不足するか境港消防署に確認したところ、小学校6校については、周辺の消火栓や防火水槽により基準を満たしていた。しかし、上道小学校のプールを解体しない状態でも、境高等学校の一

部で基準を満たしていないことが判明した。中学校3校については、3校全てで校舎や体育館の一部が基準以下になることを確認した。



使用なくなって水が入っていない
第二中学校のプール

本市の道路不具合通報アプリ導入は

市長

既存の国の道路通報アプリを
活用し周知する



道路緊急ダイヤル（#9910）
のラインアカウント
（出典：国土交通省）

【伊藤】国土交通省
は本年3月29日より
全国の道路を対象に
した道路緊急ダイヤ
ル



会派 自由未来
伊藤 康弘 議員

ル（#9910）の
ライン公式アカウ
ントの運用を開始し
ているが、独自でラ
イン公式アカウント
を活用した道路通報
システムを導入して
いる自治体もある。今
後、本市への導入は。
【市長】道路の不
具合などの通報は兵
庫県加古川市のよ
うな道路に特化した
アプリを導入する予
定はないが、誰でも
利用できる国土交通
省道路緊急ダイヤル
（#9910）の通

報アプリに本市も登
録しており、市報や
ホームページでア
プリの広報と周知を
はかりたい。
さらに、現在、導
入を検討しているも
のとしては建設工事
など契約関係書類の
提出などで活用して
いる「とっとり電子
申請サービス」に鳥
取県が今後、予定し
ている位置情報を添
付できる機能が追加
されれば、道路通報
サービスを加えたい
と考えている。

予防接種健康被害救済 制度の周知は

福祉保健部長

広報、周知を
さらに拡充する

【伊藤】ワクチンの
定期接種、特例臨
時接種の接種者の
中で、接種によって
障がいが残るなどの
健康被害が生じた場
合、国の「予防接種
健康被害救済制度」
がある。本市の周知
状況はどうか。
【市長】この制度に

関する周知は、乳幼
児の予防接種では出
生後の手続きの際に
一人ひとりに冊子を
配布し説明をしてい
る。
また、新型コロナ
ワクチンの予防接種
については接種券に
同封する説明書にこ
の制度について記載
しており、今年度も
同様の方法で周知し
ている。

【伊藤】この制度に
ついて市報や市ホー
ムページでの広報が
少ないのでは。
【福祉保健部長】市
報での広報があまり
できていないため、
今後検討したい。ま
た、この制度の紹介
を市ホームページで
もさらに周知をはか
り、今まで以上に市
民への周知に努めた
い。

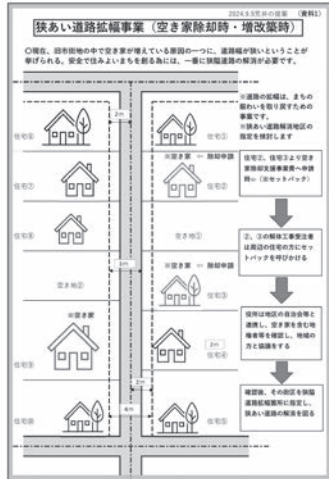


医師に相談する男性（イメージ）

空き家除却と狭あい道路解消対策は

市長

自治会と協力し、
狭あい道路の解消に努める



狭あい道路拡幅事業のイメージ
(空き家除却時・増改築時)



会派 自由未来
荒井 秀行 議員

【荒井】空き家対策
の成果と自治会など
との連携についてう

かがう。

【市長】令和3年度
から空き家対策を強
化、空き家関連補助
金150件、独自に
空き家調査を実施し
ている自治会で、狭
あい道路の解消事業
もある。

【荒井】空き家除却
支援補助金の申請時
にセツトバックを条
件とし、増加する空
き家と狭あい道路対
策を同時に進める方
法が有効と考える。
沿道で空き家が複
数発生した場合、狭

あい道路の路線設定
を協議し、拡幅する
方法はないか。
【市長】空き家除却
申請時に土地の寄付
はない。
【荒井】家を建てた
段階では、自宅は大
切な財産だが、住
まなくなった段階
で、空き家（負の財
産）となる。そう
ならないよう、住み
継ぎノートなどを活
用し、検討すること
が重要では。

【市長】住み継ぎノ
ートの広報は実施予
定である。

学校統合で地域の 社会関係資本は

教育長

小学校の合併時に
社会関係資本を拡げる必要

【荒井】本市の小中
学校再編計画の進捗
をうかがう。

【教育長】令和6年
度以降、教職員やP
TAと児童生徒へ聞
き取りをし、市民
説明会を実施する。
(仮)学校再編計画
策定審議会を予定
し、令和9年度に再
編計画をまとめる。



現在の境港市内小中学校の配置図

【荒井】人口減少下、
複数クラスと教育の
質を上げる観点か
ら、30人学級より少
人数の15人学級が考
えられる。

再編計画は検討が
必要。教育長の見解
は。
【教育長】関係法令
により難しい。また
短所・長所もあり、
教員確保も大きな困
難が生じる。

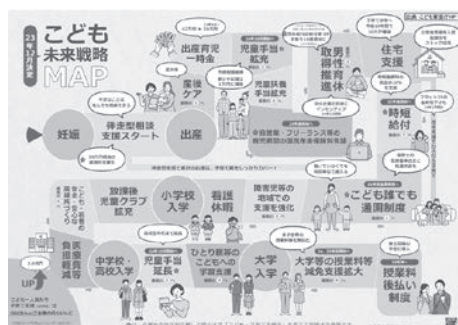
【荒井】再編にか
かる財源、各校にか
かる社会関係資本に
ついての考えをう
かがう。

【教育長】市債と一
般財源、文科省の補
助金を活用する。
それぞれ地域コ
ミュニティがあり、
小学校合併の場合
は、関係資本を拡げ
る必要がある。

保育士・保健師の 役割と構成は

市長

切れ目なく家庭に
寄り添う支援をしている



子ども未来戦略 MAP
子ども家庭庁ホームページより



会派 自由未来
松本 晶彦 議員

〔松本〕以前の一般
質問にてネウボラに
ついてうかがった。

子育て支援を充実
するには、保育士・
保健師の役割は不可
欠では。
本市の保育士・保
健師の役割と人員構
成をうかがう。

〔市長〕保育士は、
保育園や子育て支援
センターに配置し、
入園児童の保育、保
護者に対する支援の
ほか、支援が必要
な家庭や配慮の必要
な園児に対応。公立
保育園には正規職員
25名、会計年度任用
職員が57名。支援セ
ンターに7名配置し

ている。ネウボラに
関係する保健師は正
規職員9名、会計年
度任用職員2名であ
り、妊娠期から子育
て期に家庭に寄り
添った支援や成長発
達・療育の支援、各
種健康診査や予防接
種などの業務をして
いる。

〔松本〕保育士不足
の原因を調査したの
かうかがう。

〔福祉保健部長〕責
任が重い割に給与面
が低い、休みが取れ
ないのも原因と考え
ている。

消防団に ドローン部隊の設置を

市長

ドローン部隊の設置は
考えていない

〔松本〕地域防災力
の強化をはかっている
専門的な知識や資
格を有する団員や職
員が、専門的な部署
を構築できるのでは
と以前質問した。

消防団にドローン
部隊を設置する利点
は、災害時の状況を
ドローンのカメラ
で、迅速かつ正確に

把握し、情報を共有
できる点にある。ま
た、原子力災害時の
道路交通の状況把握
などにも有益と考
える。ドローン部隊
の設置を消防団本部
と検討してはどうか。

〔市長〕消防団本部
に確認したが、災害
時の活動を考慮し、
消防団員がドローン
を利用する可能性は
低い。ドローン購入

や設置の考えはな
い。

〔松本〕消防団への
ドローン導入補助事
業、消防団設備費補
助金がある。運用に
関しては、有益であ
ると思うが。

〔市長〕効果はさま
ざまあるが、引き続
き、消防団と話して
いく。しかし、消
防団では、導入の予
定はない。

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 消防団情報収集能力向上事業

実施主体 松本県市町村 消防団 市貝町消防団

1 事業の目的・必要性

〔目的〕消防団の情報収集能力向上を図るため、情報収集部隊を創設する。
〔必要性〕ドローンの活用により、目視が困難な状況下でも状況確認をすることが可能となる。

2 事業内容

○消防団Aへのドローン導入
○情報収集部隊の創設及び訓練の実施

・令和5年10月 ドローン納入
・令和5年11月 部隊創設及び林野火災を想定した訓練実施
・令和6年1月 隊員4名ドローン資格取得
・令和6年2月 団長直轄の情報収集部隊として「市貝町消防団ドローン航空隊」発足
※令和6年4月より正式運用開始

3 事業成果

市貝町消防団内にドローンを導入するとともに、無人航空機に関する知識・技術を有する隊員4名を養成した。加えて情報収集部隊としてドローン航空隊を発足させたことにより、消防団の情報収集能力の向上につながる。また消防団員の減少に歯止めがかけられない現状から、ドローンを活用することにより、活動の効率化・団員の負担軽減を図りつつ、新たな消防団としてドローンに魅力を感じた新規入団者の確保につながる事が期待される。

4 目標達成状況

項目	目標	進捗状況	実績値	備考
町民あわせ	回数	3回	3回	
二名無人航空機資格講習参加者	人数	4人	4人	
訓練参加者	人数	150人	180人	

5 その他参考情報

・とちぎテレビ放映（令和6年2月20日、29日）
・宇野新聞社掲載（令和6年2月21日）
・読売新聞社掲載（令和6年2月24日）
・朝日新聞社掲載（令和6年2月25日）
・NHK放映（令和6年2月29日）

ドローンを活用した消防団の力向上モデル事業
栃木県 市貝町消防団
総務省ホームページより

浸水被害のあった川の 早期改修を

市長

優先度が高い水路から
必要な整備を進める



令和3年7月12日大雨時の状況

【景山】全国各地で、
これまでと違った短
時間に集中豪雨が発
生し、河川の増水に



無所属

景山 憲 議員

よる堤防決壊、床下
や床上浸水など、大
きな被害が発生して
いる。本市でも、令
和3年7月に1時間
当たり80・5mmの
大雨により川が溢れ
た。床上や床下浸水
があった地域を流れ
る新屋中ノ川など
と、その周辺地域に
ついて、できる限り
早期の改修が必要で
ある。今後、具体的
に計画・改修はどの
ように進行するの
うかがう。

【市長】現在、雨水
管理総合計画策定業
務において、浸水対
策を実施する優先度
の設定や、整備など
の具体的な箇所の選
定、実施する対策に
ついての検討をして
いる。これまでに浸
水被害が発生した水
路については、優先
度が高くなる見込み
である。計画策定後
は、優先度の高い水
路から順次に、改修
などの必要な整備を
行っていくたい。

職員の夏場作業に 安全対策の徹底を

市長

各職場の状況を把握し
適切に行う

【景山】ここ数年異
常な暑さが続いてい
る。本市職員が家庭
訪問、草刈り、道路
保全、ゴミ収集、廃
棄物処理収集などの
業務を行う際に、対
応マニュアルが定め
られているのかうか

がう。暑さに対応し
た作業用着衣などの
対策はどうか、備品
として整備されてい
るのか、職員の安全
確保についてうかが
う。

りなどの作業では職
員の体調を把握し、
無理のない作業を行
うようしている。
清掃センターなど
の現業職員や道路維
持管理担当職員に夏
場作業用の薄手の作
業着を貸与、送風
ファン付き作業着も
公費購入し貸与する
など、夏場作業の暑
さ軽減をはかつてい
る。



送風ファン付き作業着の様子

防災計画策定の女性委員が少ないが

防災監

女性関係団体などに働きかける工夫をしたい



公明党
足田 法行 議員

〔足田〕防災・危機管理部局の女性職員の配置数と今後の増員の予定は。

〔市長〕防災危機管理課に本年から新たに女性の会計年度任用職員を1名配置。

女性の視点から本市の防災を推進する大変重要な役割を担っている。新たな女性職員の増員は考えていないが、適切な人員配置に努める。

〔足田〕防災計画策定の防災会議委員の女性の人数は30人中2人と少ないが。

〔防災監〕女性の関係団体などに働きかけるなどの工夫をしたい。

ユマニチュードを市民に広めては

市長

家族介護教室に取り入れるなど研究する

〔足田〕認知症対策として、ケア相手と



認知症発見 QR コードのシール
(スマートフォンで読み込み認知症
行方不明者を特定するしくみ)

良好な関係を築き、介護負担の軽減につながるユマニチュードを市民講座などで広めてはどうか。

〔市長〕認知症サポートー養成講座の中で行う認知症の方へ伝える対応方法は、ユマニチュードの技法と重なる。

今後とも理解者を広げ、幅広い世代に、認知症施策を推進する。また、ユマニチュードについては、家族介護教室に取り入れるなど、今後研究していく。

情報機器の扱いなど支援の充実を

市長

支援センターにつなぎサポートしている

〔足田〕視覚障がい者は、視覚の不自由さに加えて、日常の



米子駅前交差点の信号機にて視覚障害者が交差点に近づくとき、スマートフォンから音声などで信号の色を伝えるサポートシステム

言葉以外、特に役所文書を音声で聞いても理解しづらい。それが必要な支援にたどり着けないことを、支援する側は理解することが必要。

歩行訓練や情報機器の扱いなどを充実するよう求める。

〔市長〕福祉課で相談があった場合、必要な支援の情報提供とともに、鳥取県視覚障がい者支援センターにつなぎ、サポートしている。今後必要な支援が届くよう情報提供する。

「市民と議会の懇談会」の開催報告

今年の「市民と議会の懇談会」は、8月25日（日）に、みなとテラス（市民交流センター）にて開催しました。今年は、例年と異なり、休日の日中の時間帯に1会場のみでの開催でしたが、44名の参加がありました。当日ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

今後も、市民の皆様からの多様な意見や考えを広聴する機会を設け、開かれた議会への取り組みを進めていきます。

また、今年度中に、再度「市民と議会の懇談会」の開催を計画しておりますので、開催の折には、多数の皆様のご参加をお待ちしています。



常任委員会委員長の所感

■総務民教委員会 委員長：平松 謙治

○テーマ：公共施設について（参加者 12名）

市役所庁舎と小中学校についてなどを中心に、都市計画や土地利用まで、幅広くご意見をいただくことができました。その中には、今回、テーマについての議会の考えを聞くことができると感じていたとのご意見もありました。

広く皆様の意見を聴くことを主として、この懇談会を開催しましたが、今後、この懇談会のあり方として、議会としての考えを伝えることも含めた懇談会があってもよいと感じています。皆様からいただいたご意見を、議会に反映できるよう活動いたします。

■経済厚生委員会 委員長 吉井 巧

○テーマ：地域公共交通について（参加者 32名）

令和7年3月で、はまる一歩バスが廃止になることから、このテーマには多くの皆様に関心をもっておられること、はまる一歩バス廃止の経緯や、次年度から運行されるAIデマンド交通の周知が不足していることを、懇談会を通じて改めて感じました。

はまる一歩バスからAIデマンド交通への移行は、皆様の利便性向上のための改革でもあります。市は、1月から3月の間にAIデマンド交通の試験運行を実施し、それ以降も市民の皆様の意見を聴きながら、よりよいAIデマンド交通のあり方というものを考えていくとのことでした。

議会としても、委員会で議論をし、市の担当部署とも話をしながら、新しく導入されるAIデマンド交通が、皆様の利便性の向上につながるように、政策提言をしていきます。

※常任委員会委員長の所感は、懇談会当日の発言内容にもとづき、ホームページに掲載している内容を再編集して、掲載しています。



遠い初秋のころ

2013年10月 撮影：大濱 博幸 様



落葉

2023年11月 撮影：竹田 誠司 様

あとがき

この度開催された9月定例会は、7月の市長選挙において、2期目の市政運営を託された伊達市長にとって初めての定例会となりました。

その初日の所信表明にて、1期目の公約8点に加え、2期目の公約として新たに3点が示されました。

新たに示された公約は、「小中学校の再編」「市庁舎の建て替え」「地域公共交通の構築」でありました。

それら11点の公約を受けて、各会派と議員が、一般質問にて、市長に対し所見をいただいたところです。

一般質問の内容はこの紙面にて掲載しているほか、市議会公式YouTubeチャンネルにて、動画でもご覧いただくことができます。今後、市議会としては、8月に引き続き、市長の公約からテーマを絞り、「地域公共交通」や「小中学校の再編」について広く市民の声を拝聴し、今後の政策提言に活かすため、懇談会を開催するよう準備を進めております。日程などの詳細は、後日に告知をいたしますので、ぜひともご参加の上、「ご意見を頂きたい」と考えております。

(終)

【発行責任者】

議長 永井 章

【広報部会】

部長 足田 法行

副部長 松本 晶彦

伊藤 康弘

柊 康弘

米村 一三